

## どうする私たちの町づくり

一般質問  
ここが  
知りたい！  
聞きたい！



田中豊文議員

合等のリスク対策について、どのように取り組むのかを問う。

答 3月1日現在の換金率は、復興クレポンが14.2%、活力クレポンが19.3%である。

制限債権届出については、総合支所で相談対応とコピーサービスを行う。

想定外の事態への対応は困難で、発生状況に合わせた体制をとることになる。

安全対策について

町独自の騒音デシベル測定器の設置等についての要望書に対する検討状況について問う。

答 年度内には、国の測定器からデシベル情報を得て、町ホームページで情報提供が出来るよう準備中である。測定器の増設も国に要望していく。

大島大橋事故の諸対応と今後の対策等について

①これまでのクーポン券の実績、②市民個人の制限債権届出に対してのサポート体制、③大島大橋が通行不能となつた場

答 使用可能な水源12か所を対象に井戸水位調査を行つており、今後、詳細な揚水試験等を行つていく。

一般廃棄物収集運搬業の許可について

問 一般廃棄物収集運搬業の新規許可是実質的に凍結されているが、事業の継続性や高齢化に伴う今後の処理方針などを踏まえて、凍結の判断の合理的な理由について問う。

また、凍結の判断基準を示す許可方針の策定に対する町の認識を問う。

答 ゴミの量は年々減少傾向にあり、収集運搬は適正に行われている。

新規許可申請の提出を拒むものではない。

小松開作地区若者定住促進住宅について

問 場所を決定したプロセス、総合計画における規定、地盤の液状化の検討内容を問う。

答 大島大橋から5km以内、子育て関連施設とのバランスなど

を考慮して決定した。

総合計画では定住促進に位置付けられており、液状化の対策は置換工法による対策を講じた。

公の施設の使用料等のあり方について

問 町全体としての使用料についての考え方、使用料統一の必要性について問う。

答 一定の利用者負担を前提とする使用料について、施設毎に規定しており、統一基準を定める予定はない。

減塩運動の取り組みについて

問 減塩運動の実績と今後の方針について問う。

減塩運動に限らず、地域内部に磨きをかけ、住みやすい町にしなければ、成果には結びつかない。

町として本腰を入れるつもりがあるのかどうかを問う。

答 啓発・調査活動、減塩メニューの開発等、減塩環境の充実強化を図り、2025年度の最終評価につなげていきたい。